

入札説明書

平成27年札幌市告示第683号に基づく入札等については、札幌市契約規則、札幌市物品・役務契約等事務取扱要領その他関係法令に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

1 告示日 平成27年3月6日

2 契約担当部局 〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目1番1号
札幌市役所本庁舎6階北
札幌市建設局土木部道路維持課事業係
電 話 011-211-2632
FAX 011-218-5123

3 入札に付する事項

- (1) 役務の名称 **札幌駅前通地下歩行空間清掃業務**
- (2) 調達案件の仕様等 仕様書による。
- (3) 履行期間 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで
- (4) 履行場所 札幌市中央区大通西3丁目、大通西4丁目、北1条西3丁目、北1条西4丁目、北2条西3丁目、北2条西4丁目、北3条西3丁目及び北3条西4丁目（札幌駅前通地下歩行空間）
- (5) 本調達案件については、平成27年2月10日付札幌市告示第413号にて告示し、入札（平成27年3月4日開札）したものが不調となったため、改めて入札に付するものである。

4 入札参加資格

入札に参加できる者は、次に掲げる参加資格を満たす者とする。

- (1) 地方自治法施行令第167条の4の規定に該当しない者であること。
- (2) 平成25・26年度札幌市競争入札参加資格者名簿（物品・役務）において、業種が大分類「一般サービス業」、中分類「建物清掃業」、業務ランクが「清掃A」に登録されている者であり、かつ、平成27・28年度札幌市競争入札参加資格認定書（物品・役務）において、業種が大分類「一般サービス業」、中分類「建物清掃業」、業務ランクが「清掃A」で認定を受けている者であること。
- (3) 平成25・26年度札幌市競争入札参加資格者名簿（物品・役務）において、所在地区分が「市内」として登録されている者であり、かつ、平成27・28年度札幌市競争入札参加資格認定書（物品・役務）において、所在地区分が「市内」で認定を受けている者であること。
- (4) 告示日を起点とした過去3年間において、一契約あたり清掃対象面積が1万平方メートル以上の施設において清掃業務の良好な履行実績（6か月以上継続して履行しているものも含む。）を有すること。

- (5) 本業務に従事する業務責任者は、本業務に必要な資格（仕様書に定める業務従事者の資格）を有する者で、10年以上の実務経験を有することとし、本業務の専任として配置できること。
- (6) 本業務の仕様書に適合する受託体制を確立できる者であること。
- (7) 会社更生法による更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法による再生手続開始の申立てがなされている者（手続開始の決定後の者は除く。）等経営状態が著しく不健全な者でないこと。
- (8) 札幌市競争入札参加停止等措置要領の規定に基づく参加停止の措置を受けている期間中でないこと。
- (9) 事業協同組合等の組合がこの入札に参加する場合は、当該組合等の構成員が構成員単独での入札参加を希望していないこと。
- (10) 事業協同組合等における取扱いについて
中小企業等協同組合法（昭和24年法律第181号）、中小企業団体の組織に関する法律（昭和32年法律第185号）又は商店街振興組合法（昭和37年法律第141号）の規定に基づき設立された組合又はその連合会で、かつ、経済産業局長が行う官公需適格組合の証明を有するときは、上記の入札参加資格のうち(4)に掲げる要件については、当該組合と組合員（組合が指定する所在地が札幌市内の組合員）に係る契約実績の合計値とすることができる。

5 仕様書の入手方法

上記2の場所で交付する。なお、交付する期間はこの告示の日から入札日の前日までの土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）を除く毎日、午前8時45分から午後5時15分までとする。

6 入札の手続等

(1) 入札方法

総価で行う。なお、落札決定に当たっては、入札書（別紙1）に記載された金額に当該金額の8%に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札金額とするので、入札者は、消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の108分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

(2) 入札の日時

平成27年3月11日（水）13時30分

(3) 場所

札幌市中央区北1条西2丁目1番1号 札幌市役所本庁舎地下1階1号会議室

(4) 提出方法

入札書は、別添の様式にて作成し、上記6(2)、(3)の指定日時及び場所において、直接入札箱へ投函（紙入札方式）すること。（送付又は電送による入札は認めない。）

(5) 代理人による入札

ア 代理人が入札する場合には、入札書に競争入札参加資格者の氏名、名称又は商号及び住所並びに代理人であることの表示、及び当該代理人の氏名を記入して押印（外国

人の署名を含む)しておくとともに、開札時まで代理委任状(別紙2)を提出すること。

イ 入札者又はその代理人は、本調達に係る入札について他の入札者の代理人を兼ねることができない。

(6) 開札

ア 開札は、入札後直ちに上記6(3)の場所において、入札者又はその代理人を立ち会わせて行う。

イ 入札者又はその代理人は、入札時刻後においては、入札場に入場することはできない。

ウ 入札者又はその代理人は、入札場に入場しようとするときは、入札関係職員の求めに応じ入札参加資格を証明する書類、身分証明書又は入札権限に関する委任状(別紙2)を提示しなければならない。

エ 入札者又はその代理人は、入札執行職員又はその補助者が特にやむを得ない事情があると認めた場合のほか、入札場を退場することができない。

オ 開札をした場合において、入札者又はその代理人の入札のうち、予定価格の制限の範囲内で最低制限価格以上の価格の入札がないときは、再度の入札を行う。この場合において、最低制限価格を設定している場合にこれを下回った入札をした者は、再度の入札に参加できない。なお、再度入札の回数は、原則として2回を限度とする。

(7) 入札の無効

ア 本入札説明書に示した入札参加資格のない者の提出した入札、入札に関する条件に違反した者のした入札、その他札幌市契約規則第11条各号の一に該当する入札は無効とする。

イ 札幌市物品・役務契約等事務取扱要領第13条に定める入札参加資格の審査書類の提出の指示があったにもかかわらず、指定された期日までに当該書類の提出がなされなかったときは、当該入札は無効とする。

(8) 入札の延期等

次のいずれかに該当したときは、当該入札を延期し、中止し、又はこれを取り消すことがある。

ア 入札者が相連合し、又は不穏の挙動をする等の場合であって、競争入札を公正に執行することができない状態にあると認められるとき

イ 天災その他やむを得ない事情が発生した場合であって、競争入札を公正に執行することができない状態にあると認められるとき

ウ 調達を取りやめ、又は調達内容の仕様等に不備があったとき

(9) 落札者の決定方法

ア 落札者の決定

札幌市契規則第7条の規定に基づき作成された予定価格の制限の範囲内で、かつ、最低制限価格以上の価格のうち、最低の価格をもって入札(有効な入札に限る。)をした者を落札候補者として、落札保留のうえ下記ウの審査を行い、その結果、入札参加資格を有する者と確認できた場合に、当該落札候補者を落札者とする。

イ 同額抽選

落札候補者となるべき同価の入札をした者が2人以上あるときは、直ちに当該入札

者にくじを引かせて落札候補者の審査の順位を決定するものとする。この場合において、当該入札者又はその代理人がくじを直接引くことができないときは、これに代えて当該入札事務に関係のない職員がくじを引くものとする。

ウ 入札参加資格の審査

落札の決定を保留した後、落札候補者が、入札参加資格を有する者であるかを審査するので、落札候補者は、入札執行者の指示があった日（原則として開札日）の翌日から起算して3日以内（土曜日、日曜日及び休日を除く。）に、上記4に掲げる入札参加資格を有することを証する書類（下記7 入札参加資格の審査 参照）を提出しなければならない。なお、指定期限までに提出がない場合は、当該落札候補者を、入札参加資格のない者のした入札とみなし無効とする。

エ 入札参加資格を有しなかった者の取扱い

上記ウの審査の結果、落札候補者が、入札参加資格を有しない者であることを確認した場合は、その者の入札を無効とする。この場合において、予定価格の制限の範囲内で、かつ、最低制限価格以上の価格のうち、最低の価格をもって入札（有効な入札に限る。）した者を、新たな落札候補者として、上記ウの審査を行う。以後、落札者が決定するまで同様の手続を繰り返す。

7 入札参加資格の審査

上記6-(9)-ウによる入札参加資格の審査に係る書類については下記のとおり作成すること。

(1) 一般競争入札参加資格に関する書類の提出について

添付様式により作成すること。

(2) 添付書類

以下の書類を提出すること。

ア 上記4-(4)における履行実績が確認できる書類（契約書及び業務内容、建物の規模が確認できる書類（仕様書等））

イ 上記4-(5)における業務責任者の資格及び実務経験が確認できる書類（資格証等の写、業務経歴書他）

ウ 上記4-(6)における受託体制が確認できる書類（業務履行に必要な人員配置計画が確認できること。また、人員の新規採用を行う場合は採用計画についても確認できること。業務管理体制（会社組織系統）、安全衛生管理体制、業務責任者等指定通知書、人員の採用計画が確認できる書類（人員の新規採用を伴う場合のみ）他）

(3) その他

ア 申請書及び資料の作成及び提出に係る費用は、提出者の負担とする。

イ 提出された申請書及び資料は、入札参加資格の確認以外に提出者に無断で使用しない。

ウ 提出された申請書及び資料は、返却しない。

エ 提出期限以降における申請書及び資料の書き換え、引き換え又は撤回は認めない。

8 その他

(1) 入札保証金 免除

(2) 契約保証金 要

契約を締結しようとする者は、契約金額の100分の10に相当する額以上の契約保証金又はこれに代える担保を、落札決定の日の翌日から起算して5日後（5日後が土曜日、日曜日及び休日の場合は翌開庁日）までに納付しなければならない。なお、指定期日までに納付がなかった場合には、落札決定を取り消すとともに、札幌市競争入札参加停止等措置要領の定めに基づき参加停止の措置を行う。

ただし、札幌市契約規則第25条各号の一に該当するときは、契約保証金を免除することがある。

(3) 最低制限価格の設定

札幌市役務契約に係る低入札価格調査制度及び最低制限価格制度運用要領に基づき最低制限価格を設定する。（別記3「建物清掃警備等業務における最低制限価格等の算定」参照）

(4) 入札者に要求される事項

ア この一般競争入札に参加を希望するものは、上記4に掲げる入札参加資格を有することを証明する書類（別記2参照）を、入札関係職員の求めに応じ提出しなければならない。また、当該書類に関し説明を求められた場合は、それに応じなければならない。

イ 入札参加者は、本入札説明書、仕様書及び契約書案等について、疑義がある場合は関係職員に説明を求めることはできるが、入札後はこれらの不明を理由として異議を申し出ることはいできない。

(5) 落札の取り消し

落札者が次のいずれかに該当するときは、当該落札を取り消すものとする。

ア 契約の締結を辞退したとき、又は市長の指定した期日以内に契約を締結しないとき

イ 契約保証金の納付義務のある者が、指定する期日までに、契約保証金の納付がなかったとき

ウ 入札に際し不正な行為をしたと認められるとき

エ その他入札に際し入札参加の条件に欠けていたとき

(6) 契約書の作成

ア 競争入札を執行し、契約の相手方を決定したときは、遅滞なく契約書を交わすものとする。ただし、契約保証金の納付義務がある場合は、その納付が確認された後とする。

イ 契約書を作成する場合において、契約の相手方が遠隔地にあるときは、まずその者が契約書の案に記名押印し、更に市長が当該契約書の案の送付を受けてこれに記名押印するものとする。

ウ 上記イの場合において市長が記名押印したときは、当該契約書の1通を契約の相手方に送付するものとする。

エ 市長が契約の相手方とともに契約書に記名押印しなければ、本契約は確定しないものとする。

(7) 契約条項

別紙3のとおり

(8) 入札参加資格が認められなかった者に対する理由の説明

入札参加資格が認められなかった者は、本市に対して入札参加資格が認められなかった理由について、原因となった事実を知り、又は合理的に知り得たときから10日以内（札幌市の休日を定める条例に定める休日を除く。）に、次に従い、書面（様式は自由）により説明を求めることができる。

ア 提出場所

上記2に同じ。

イ その他

持参することにより提出するものとし、送付又は電送によるものは受け付けない。

9 添付書類

- (1) 入札書（別紙1）
- (2) 委任状（別紙2）
- (3) 契約書（案）（別紙3）
- (4) 消費税及び地方消費税に関する申立書（別紙4）
- (5) 公示用設計図書の施行条件等に対する質問票（別紙5）
- (6) 事後審査型一般競争入札における特定の関係にある資格者同士の入札参加に関する制限（別記1）
- (7) 一般競争入札参加資格に関する書類の提出について（別記2）
- (8) 建物清掃警備等業務における最低制限価格等の算定（別記3）
- (9) 札幌市競争入札参加者心得